

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

畜産課長 川津章弘

電話番号

0852-22-5132

事務事業の名称	農畜産物の放射性物質検査等事業	
目的	(1) 対象	農業者
	(2) 意図	福島原発事故の放射性物質汚染による風評被害防止のため、放射性物質検査を実施し、県産農畜産物の安全性の確保及びPRを図る。
事業概要	県産肉用牛の安全性を確保するため、県内でと畜される全ての牛の肉に対して、放射性物質検査を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 県内でと畜される牛の放射性物質検査(全頭検査)実施率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 (放射性物質検査数/県内と畜数)×100	実績値	100.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	55,148	45,630
うち一般財源(千円)	55,148	45,630

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

検査実施状況(H27年度分実績) 全頭検査頭数：3,962頭(すべて不検出)

6. 成果があったこと(改善されたこと)

平成23年8月上旬から(株)島根県食肉公社に出荷される牛の全頭検査が実施され、(株)島根県食肉公社による検査結果証明書の発行やホームページへの検査結果公表により、安全性がPRされている

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
○H28年度に入って民間自主検査終了の動きがあるが、行政の検査事業終了時期が不明確な状況。
- ②困っている状況が発生している「原因」
○過去の経緯から、流通段階では「検査結果証明書」を添付しているが、国から自主検査終了に向けての調整が無い中、本県が単独で自主検査を終了することは困難。
- ③原因を解消するための「課題」
○県産牛肉の安全性についての理解促進が図られ、国主導での自主検査終了に向けた調整の実施が必要。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 他県の実施状況の把握と連携により、事業の終了時期や手法の変更を検討
- 全国で実施されている自主検査について、全国一斉中止に向け国においての調整を働きかけていく

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)

--